

令和6年度(2024)

「山形小説家・ライター講座」

第9回鶴岡出張講座 特別編

今年はエッセイを募集します



講師 酒井順子氏
(エッセイスト)

講師兼司会 池上冬樹氏
(文芸評論家)

第1部 講評

(提出された作品の講評を行います)

第2部 トークショー

日時 令和6年10月5日(土)
午後2時～4時頃

会場 出羽庄内国際村

鶴岡市伊勢原町8-32
TEL 0235-25-3600

先着 150名様
受講料 500円

※高校生以下無料



受付は8月20日(火)午前9時30分より開始します。

【申込方法】

- ①図書館本館に直接 ②電話：☎0235-25-2525
 - ③メール：library@city.tsuruoka.yamagata.jp
 - ④電子申請：Googleフォーム(上記QRコードからアクセスできます)
- ※④は申込内容のコピーがメールで送信されます。
申し込みを確認希望の方は、電子申請をおすすめします。

なお、受講料は当日にいただきます。詳しくは鶴岡市立図書館本館までお問い合わせください。

Profile

1966年東京生まれ。高校時代から雑誌にコラムを書きはじめ、大学卒業後、広告会社勤務を経て、執筆業に専念。2003年に刊行した『負け犬の遠吠え』は、30代以上で未婚、子ナシの女性を「負け犬」とし、ベストセラーに。同作で第4回婦人公論文芸賞、第20回講談社エッセイ賞をダブル受賞した。『男尊女子』『ガラスの50代』『百年の女』等、女性の生き方に関する著作を多く発表する。『女人京都』『鉄道無情 内田百閒と宮脇俊三を読む』等、旅や鉄道についての著作も多い。平安時代の女性文学者にも興味を持ち、『枕草子REMIX』『紫式部の欲望』等の著作がある他、河出書房新社の日本文学全集では『枕草子』の現代語訳を担当した。「日本のエッセイストの代表格であり、近年の『百年の女』や『家族終了』『処女の道程』などでも明らかなように、日本における女性史や家族史の分析において最も優れた功績を残しており、彼女を超えるエッセイストは今後生まれるとはとても思えない。食エッセイの平松洋子とともに日本文学史に残る文豪である」(池上冬樹)

「山形小説家・ライター講座」とは…／

本講座は、平成9年（2007）4月、直木賞作家である高橋義夫先生を講師としてスタート。その後、山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼世話役を引き受け、現在までたくさんの受講生とともに歩んできた“真剣かつカジュアル”がモットーの、有志による愉快的自主運営の文学講座で、今年度は10回、遊学館（山形市緑町一丁目2-36 山形県立図書館併設）で開催しております。第一線で活躍中の作家や評論家の方を講師としてお招きし、受講生が提出する短編作品（毎回3～5本）をテキストにして、講評ならびにトークショーを行っています。

小説・エッセイ・詩・短歌など文章を書くことが好きな人はもちろん、書かないけれど、本を読むことが好きな人も歓迎しています。

「鶴岡出張講座」とは…／

平成28年（2016）9月より、鶴岡市立図書館が主催として年1回のペースで開講。これまで、三浦しをん氏、角田光代氏、村田沙耶香氏、中島京子氏、井上荒野氏、穂村弘氏、あさのあつこ氏、逢坂剛氏を講師に迎え、本講座のスタイルをそのまま鶴岡に持ってきて、テキストの講評とトークショーを行っています。

「山形小説家・ライター講座」 令和6年（2024）講師一覧

※敬称略

- 4/28 清水良典、東雅夫、末國善己、大森望○
（文芸評論家たち）
- 5/26 東山彰良（直木賞作家）○
- 6/23 楠章子○
（児童文学作家・東北芸術工科大学客員教授）
司会・玉井建也
（東北芸術工科大学准教授）
- 7/28 穂村弘●
（歌人・評論家・エッセイスト）
- 9/22 堀江敏幸（芥川賞作家）●
司会・トミヤマユキコ
（東北芸術工科大学准教授）
- 10/27 城山真一○
（このミステリーがすごい！大賞作家）
- 11/24 角田光代・井上荒野・江國香織●
（直木賞作家たち）
- 1/26 池上冬樹（文芸評論家）プラス1 ○
- 2/23 三浦しをん（直木賞作家）●
- 3/23 佐藤厚志（芥川賞作家）○

興味のある方は、是非ともご参加ください。

○印はオンライン、●印は遊学館を会場に、対面&オンラインの併用講座となります。なお、詳細については、「山形小説家・ライター講座」のX（旧Twitter）をご覧ください。

**今年は酒井順子氏を講師に
お迎えすることから、
エッセイに限定して募集します。**
（小説はお休みです）

提出方法

- 応募テキストは原稿用紙5枚前後から最大30枚まで（原稿用紙1枚は400字と換算します）。ただし、20枚を超えるものに関しては200字程度のあらすじを添付してください。
- 当日講座に参加できる方のみ、作品の提出を受け付けます。
- 提出されたテキストは、池上冬樹氏が講師との相性などを考慮し決定します（当日取り上げる作品は数本と考えております。応募多数の場合、テキストの採用を見送る場合がありますので、ご了承ください）。
- テキストは文書作成ソフト「word」にて読みやすい形（A4横、40×30字程度の縦書き）で作成し、下記アドレスにメール添付にて、または鶴岡市立図書館カウンター窓口にてデータを提出してください（データ提出はCD・DVDにてお願いします。USBメモリ等での提出は、セキュリティの点からご遠慮願います）。
- テキストに選ばれた方には、電話にて連絡いたしますので、当日繋がる電話番号も明記してください。

テキスト提出の締め切り 9月23日（月）

テキストの提出先

library@city.tsuruoka.yamagata.jp または、
sakka.naro@r7.dion.ne.jp

※表題に「出張講座用テキスト」と明記してください。



テキストの事前配布

- 参加申し込みいただいた方には、10月1日（火）より、鶴岡市立図書館カウンター窓口にて配布します。
- なお、当日、会場でも配布します。